

○副議長（曾根嘉明議員） 次に、柴田みよさん。

柴田さん。

〔5番 柴田みよさん登壇〕

○5番（柴田みよさん） こんにちは。柴田みよです。

介護者支援について質問いたします。私は、3年前に神奈川県川崎市から、夫の実家、船木に引っ越してまいりました。川崎市に住んでいたとき、島田市に住んでいた夫の母が要介護となり、10年間ほど自宅で介護をした経験があります。また島田市では介護相談員として特別養護老人ホームやデイサービスなどの介護施設を訪問し、利用者や御家族からの日ごろの疑問や不満、よかったことや感じたことなどを伺っております。これまで、さまざまな環境の中で介護に携わってきましたが、日ごろ強く感じていることは、介護者への支援の必要性です。川崎市では、介護者を支援するボランティア団体の活動が非常に盛んです。

一例としては、地域ボランティア団体による老人いこいの家でのミニデイサービスがあります。ここでは、高齢者がデイサービスを受けている間に、同じ建物内で、家族は座談会や介護に関する勉強会が行われ、時には、一緒にバス旅行などに参加してリフレッシュするものです。ミニデイサービスは地域のボランティアによる運営なので、利用者が気軽に参加できることや、家族が安心してリフレッシュできること、また、介護者同士の情報交換や、介護経験者のアドバイスが受けやすいなど、介護者を支援するたくさんのメリットがあります。

現在、身近で介護の悩みを抱えている方がいることや、島田市介護相談員として活動する中、以下について提案と質問をしたいと思います。

(1) 介護者への支援として、初倉公民館、岡田公会堂、自宅を拠点に介護者支援ボランティア団体を立ち上げ、運営していきたいと考えていますが、市としてはどう考えますか。

(2) 市内各地域における、介護者支援ボランティア団体の立ち上げについて、市では支援する予定はありますか。

2、小規模多機能型施設について。介護保険における小規模多機能型施設と複合型サービス施設は、利用者の状態や生活環境に応じて、1つの事業所の中で、通い、訪問、泊まりのサービスを組み合わせ受けることができます。また、小規模多機能型施設と複合型サービス施設は地域密着型サービスであり、高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受けながら、安心して生活し続けるために理想的な施設であると感じています。

そこで、以下について質問します。

2025年に向けて、高齢者、要介護者の増加は懸念されていますが、利用者にとっても介護者にとっても理想的な小規模多機能型施設を増設していく予定はありますか。

壇上での質問は以上です。

〔5番 柴田みよさん発言席へ移動〕

○副議長（曾根嘉明議員） 染谷市長。

〔市長 染谷絹代登壇〕

○市長（染谷絹代） 柴田みよさんの御質問にお答えさせていただきます。

まず、1の(1)と(2)の御質問につきましては、関連がございますので一括してお答えいたします。柴田さんから御提案のありました介護者支援ボランティア団体の立ち上げと運営については、要介護者への介護サービスの充実や老老介護などがクローズアップされる中、必要性が高まってきている介護者への支援、さらには、地域の方による互助の仕組みづくりとして大きな効果があるものだと期待されていると考えております。要介護高齢者の増加や、核家族化の進行、介護をする家族の高齢化などを背景として平成12年に創設された介護保険制度は、今年度、抜本的な改正が行われました。これは団塊の世代が75歳以上になる2025年に向け、高齢者が住みなれた地域で生活を維持し

ていくために、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築と実現を大きな柱にしているもので、島田市においても、その構築を重要な課題として捉えております。

提案のありました介護者支援ボランティア団体は、この地域包括ケアシステムの運営を支える団体として、また、平成29年度までに市内に40カ所の開設を予定している高齢者の居場所においても、その運営を支えていく団体の1つとして、大いに期待されるものと思います。

市といたしましては、市民ボランティアの主体的な活動が全市域において展開されるよう、側面的な支援をしていきたいと考えております。とりわけ、補助金等の財政支援については、今回の介護保険法等の抜本的な改正により、地域支援事業について見直しが行われ、補助対象事業が拡大される中、積極的に国の制度を活用し、検討していきたいと考えております。

次に、2の(1)の御質問についてお答えをいたします。

現在、島田市においては、介護保険制度における小規模多機能型事業所及び複合型サービス事業所は3施設でございます。柴田さんのおっしゃるとおり、これらの事業所においては、住みなれた地域で同一の事業者から、御本人の状態や御家族の環境に対応して、通所、訪問、宿泊のサービスを組み合わせる受けることができます。特に緊急的な宿泊サービスの対応が可能であることは、在宅介護をする方にとっては大きなメリットとなっており、今後においても高い需要があると認識をいたしております。

一方で、介護保険サービスを提供する施設の整備については、3年ごとに策定する介護保険事業計画に位置づけていく必要がございます。平成27年度からの第6期島田市介護保険事業計画策定のための高齢者の暮らしと介護についてのアンケート

調査を、昨年度、実施いたしました。その調査結果の中でも、緊急時の短期宿泊対応については56.6%の方が支援を希望すると回答し、他の項目に比べ、突出して高い割合となっております。

また、今年度においても、各地域包括支援センターや介護保険サービスを提供する事業者に対してもアンケート調査を行い、日常生活圏内、圏域ごとの実情や、サービス需要に対応する事業者の意向等についても把握に努めているところでございます。御質問がありました小規模多機能型施設の整備についても、第6期島田市介護保険事業計画の今年度策定作業の中で検討していきたいと考えております。

以上、御答弁を申し上げます。少々内容が難しい表現になってまいりまして、申しわけございません。再質問につきましては、担当部長から答弁させる場合がありますので、よろしくお願いを申し上げます。

○副議長（曾根嘉明議員） 柴田さん。

○5番（柴田みよさん） 島田市における介護者支援事業は、どのようなものでありますか。また、介護者支援を目的とするボランティア団体はありますか。

○副議長（曾根嘉明議員） 中村市民福祉部長。

○市民福祉部長兼支所長（中村盛高） ただいま2つの大きな質問が出ましたので、それぞれお答えしたいと思います。

まず最初に、介護者の支援事業についての御質問ですけれども、これは、大きく分けて2つございます。在宅で高齢者を介護している家族のためのサービスと高齢者あんしんセンターと呼んでおりますけれども、地域包括支援センターの相談事業でございます。

まず、家族のためのサービスにつきましては3つございます。家族介護の用品の支給事業、これは紙おむつ等の支給の事業でございます。それから、介護教室の事業でございます。これは、介護

の方法であるとか介護の予防、それから介護者の健康づくり等の教室を開催していくという事業でございます。それから、介護者の交流事業でございます。これは、先ほドリフレッシュというお言葉も柴田さんの中にごさいましたけれども、介護者を一時的に介護から解放してあげる事業でございます。具体的なものは、日帰り旅行等の事業をやっております。

それから、もう1つ大きな事業で、高齢者あんしんセンター、地域包括支援センターというふうに、行政的には呼びますけれども、これは中学校校区ごとに設置されておりまして、地域で暮らす高齢者の方を総合的に支える事業でございます。専門員が保健師、介護支援専門員、それから社会福祉士が常駐しておりまして、総合相談支援と、認知症の家族会の交流会、ミニ勉強会等を行っております。

次に、もう1つ御質問で、ボランティア団体はあるかという御質問でございましたけれども、介護者の支援を直接の目的としたボランティア団体は、現在、把握しておりません。けれども、高齢者支援団体としては、地域ふれあいサロン等がございます。このサロン等は市内に56カ所ございまして、高齢者の閉じこもりや認知症の予防を目的として、レクレーション等を中心としたミニデイサービスを実施して、大きな成果を上げているということで、活動もなかなか盛んであるというふうに聞いております。このサロンの活動は、直接介護者を支援するものではございませんが、一時的に高齢者を支えるということで、御家族の御負担を少しでも軽減できるというものにつながっているというふうに認識しております。

以上でございます。

○副議長（曾根嘉明議員） 柴田さん。

○5番（柴田みよさん） 御説明ありがとうございます。

私も島田に来て1年後ぐらいに、民生委員さん

が岡田にサロンを立ち上げるので協力してほしいということで、来ていただきました。それで早速、一応看護師でもあるので、岡田サロンとくらの初倉健康クラブは20年やっているそうですけど、その2カ所にスタッフとして参加しております。

それで、グラウンド・ゴルフなども参加しておりますけれども、島田市は健康なお年寄りがとても多いです。グラウンド・ゴルフやサロンなどの交流会もとても多くて、介護予防になっていて、団塊世代の私は、老後の生活に希望が持てます。

昨年の秋に、自宅に15畳の離れをつくりました。そして、ことしの3月から、詩吟教室とか絵手紙の会、それと、仲間とのバーベキュー、カラオケなどを時々しております。週3日、金谷のデイサービスに勤めておりますので、9月からは日曜日、月曜日だけのたまり場にしたいと思い、今、準備中です。

以上です。ありがとうございました。

○副議長（曾根嘉明議員） 染谷市長。

○市長（染谷絹代） 柴田さん、日ごろの活動から感じておられる疑問点等をお話いただきまして、本当にありがとうございます。介護される側の方々に対する支援は、国も県も市も手厚くやってきているんですが、やはりその方々を介護する側の皆さんをどう支援するかというのは、今、国でも県でも、そしてまた市としても、認識を新たにしているところでございまして、先日NHKが特集番組をやっているのを、私も見ました。本当に、支える側の方たちをどう支えていくかということが大事な時代になったということを確認しております。

また、島田市はさまざまなふれあいサロン、岡田で活動されている、あるいはくららでの活動のようなものが大変盛んでございまして、地域の皆様方が、地域の御高齢の方たちを支えようとする、その素地がございます。私は、それを本当にありがたいことと思っております、その中で、御本

人だけではなく、家族を支えるという意味でも活動が広がってきているところもございます。新たな課題というものの認識を、私にもしっかりと伝わってまいりました。御質問をいただいたことを、本当にありがたく思います。

また、自宅に15畳の離れを開設されたということもでございます。そうしたことも、ぜひ地域の中で、地域の回覧板やさまざまなことで広がってまいります。また、先ほど子育てカレンダーのお話をいたしました。島田市はさまざまな、今日は何をやっているよというようなカレンダーを、今、ホームページ上にも載せております。そうしたところにも、皆様方、市民の皆さんのそういった活動が載っていることで、今日は岡田でこういったものがあるから行ってみようかというような、そういったものにも資料として載せていきたいと思っておりますので、是非また、そういったさまざまな情報を島田市の広報課にお届けいただければありがたいと思っております。よろしく願いいたします。

○副議長（曾根嘉明議員） よろしいですか。

○5番（柴田みよさん） 以上で質問終わります。